



4月16日に行われた、こいのぼり掲揚式。子どもたちの健やかな成長を願い、こいのぼりが揚がりました。7ページにその様子を掲載しています。

市の人口

人口 113,974人 (-425人)
男 55,635人 (-285人)
女 58,339人 (-140人)
世帯数 47,055世帯 (-73人)
平成27年3月末現在

P2-3 国民健康保険税 税率改正について
P4 情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況
P5 南米からのおたより



漆芸家シリーズ2015 松田勲展

美と祈りの漆芸



現在活躍する漆芸作家を紹介する漆芸家シリーズ展。4回目の開催となる今年は、伝統工芸士で沖展会員の松田勲氏を紹介します。松田氏は和歌山県で修業し、(株)琉球漆器で長年職人であり管理者として勤めた漆器業界のリーダーの1人です。その一方で30年前から首里に工房を構えて、自身の作品を制作発表しています。県指定琉球漆器技能保持者の3人(故)嘉手納憑勇氏から箔絵を、金城唯喜氏から沈金を、前田孝允氏から螺鈿を学び、伝統的ながらも新しさを取り入れた多彩な表現を試みてきました。また、県内各地の獅子頭や祭祀具の修復にも携わり、沖縄の人々の年中行事や暮らしに寄り添った仕事を多く手がけています。今回は首里末吉町の「神獅子」を特別展示いたします。松田勲の世界をどうぞ堪能ください。

- 会期 5月16日(土)～5月24日(日)
9時30分～17時
(金曜日は19時まで開館。
入館は閉館の30分前まで)
- 休館日 5月18日(月)
- 会場 浦添市美術館
- 入場料 無料
- お問い合わせ ☎879-3219
- 特別協力 那覇市首里末吉町自治会

首里末吉町の神獅子▶
1994年 獅子頭塗担当
地域の守り神として崇められ、
八月十五夜祭のみに舞う崇高な
獅子



「夜風」盛器▶
1991年 第43回沖展
準会員賞
松林で月明のもと空を
仰ぎ見た風景に着想を
えて、螺鈿で表現



戦後70年 芸術と社会 戦後沖縄社会と抵抗の美術展

戦後70年を迎えるにあたり、県内外で活躍する現代美術家の作品をとおして、戦後美術を考え、同時に新たに創造を試みる展覧会です。前期と後期の2回に分けた展覧会でそれぞれ異なる作家15人51作品を紹介します。

- 主催: 戦後沖縄美術プロジェクトすでいる
-REGENERATION実行委員会-
- 共催: 浦添市教育委員会
- 期間:(前期): 6月3日(水)～6月7日(日)
高良憲義・新垣安雄・川平恵造・金城満・
照屋勇賢・金城徹・嘉手苺士朗
- 期間:(後期): 6月24日(水)～6月28日(水)
喜久村徳男・屋良朝彦・知花均・大山健治・
粟国久直・阪田清子・山城智佳子
- シンポジウム: 6月27日(土)14時から浦添市美術館講堂にて
「美術が問う戦後70年」 翁長直樹ほか出品作家予定



後期: 喜久村徳男▶
「鼓動92」



▲前期: 高良憲義「原発と米軍」

浦添市美術館

〒901-2103 浦添市仲間1-9-2 ☎: 879-3219 FAX: 878-1221
ホームページ: <http://museum.city.urasoe.lg.jp/>

